

美術・工芸部門

全国高校総合文化祭（総文祭）美術・工芸部門には、昨年12月の県高校美術展・デザイン展で最優秀賞となった絵画3点、デザイン2点、工芸1点、彫刻1点が出品される。絵画、デザインは自由な発想や、自身の体験を描いた作品がそろった。工芸、彫刻はともに細部の表現にこだわった力作だ。7人はいずれも初の総文祭出場。全国から集まる作品の長所を吸収し、自身のステップアップにつなげようと意欲を見せる。

ねづともひろ ないとうだいち
(根津知広、内藤大地)

目指せ!
日本一
総文祭県代表紹介

作り上げた達成感表現

趣味のプラモデルを作り上げた時の達成感を表現した。「プラモの細かい

部品を再現するのが難しかった」と振り返る。油絵を描いたのはまだ

2作目。県代表に輝き「うれしいというよりも、正直なところ『本当なの、聞き間違いでは』という思いだった」と驚きを隠さない。「集中して絵に

仕上がっていく様子が楽しい」と意欲的だ。

没頭する時「楽しい」と笑顔を見せる。間や、真つ「色の使い方がまだまだ白なキャン「だ苦手なので、ほかの人の作品を見て参考にしたい」と意欲的だ。



幸福の科学学園高3年

絵画

たかはら
高原 寛子
ひろこ
さん



高原寛子さんの油絵「completed」